

文化財



まさむねくん

せんだい



めぐちゃん

No. 116

平成28年(2016年)11月発行
仙台市教育委員会文化財課
仙台市青葉区上杉一丁目5-12
上杉分庁舎 10階
〒980-0011 Tel:022-214-8893

親子で江戸時代にタイムスリップ! ～仙台城跡親子石垣見学会～



7月30日と8月20日に「仙台城跡夏休み親子石垣見学会」を開催し、計20組の親子に参加していただきました。石の大きさを測ったり、石垣の勾配のちがいを観察したり、石工さんの道具に触れたりしました。当時の職人が付けた「△」や「○」などの印が刻まれた石材を探しました。また、10月22日にも石垣見学会を開き、100名以上の方に石垣を見学していただきました。



石の大きさを測っている様子

石の大きさはどのくらいあるんだろう??



酉門跡石垣の見学

仙台城跡にある様々な石垣

仙台城内にある石垣では、使われる石材の加工の仕方や、石の積み方の違いなどを観察することができます。

清水門石垣



博物館の南側にある清水門跡では、自然石や粗く割った石などを使った石垣を見ることができます。

本丸北壁石垣



本丸北壁石垣では四角く加工された石材を使っており、最も高いところでは、約17mの高さがあります。

最新!! 発掘調査情報

今年行われた発掘調査の
成果をお知らせします!!



意外とすごい!?「貞山堀」

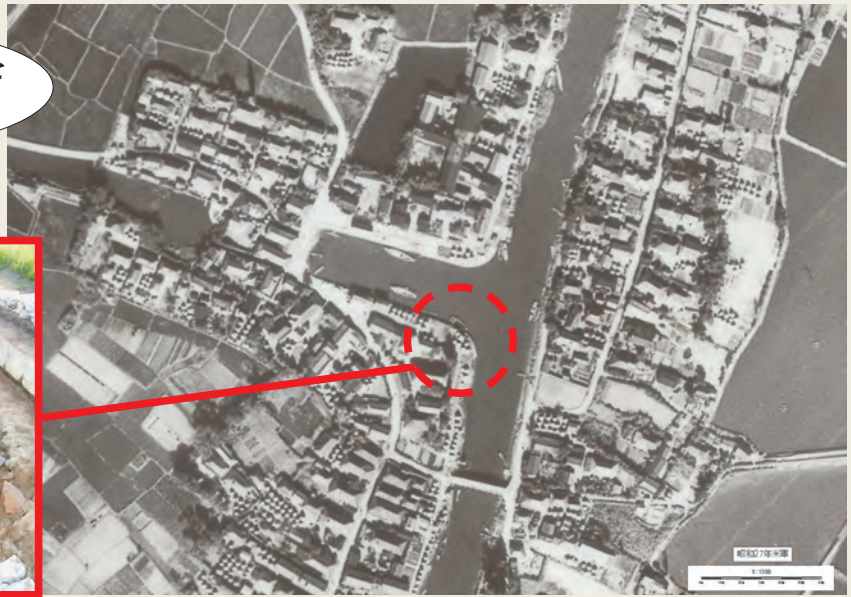
貞山堀は江戸時代から明治時代に、塩釜湾から阿武隈川河口の間に掘られた三つの運河のことです。今年度は東日本大震災で津波の被害を受けた宮城野区蒲生地区で堀跡の調査を行いました。調査では、かつて蒲生にあった仙台藩の蔵に、舟を引込む舟溜りを護岸する石積みを発見しました。石積みの中でも古いものは江戸時代に造られた可能性があり、その後は何度かの改修が行われています。

また昨年、蔵跡からは荷物に付けた木簡が多数出土しており、中には現在の県北部の郡名が書かれていることから、かつての蒲生は仙台へ荷物を運搬するための中継基地として重要な場所であったことが裏づけられました。

舟溜りへの入口に石積みを
築いていたんだね!



舟溜りの入口に造られた石積み(北から)



貞山堀と舟溜りの空中写真(昭和27年撮影)

仙台城の酒蔵「造酒屋敷跡」

伊達政宗は1608年に大和国(現在の奈良県)のかやのもり榎森から職人を招き、城の中で酒を造らせた。これまでの調査では、井戸跡からは「榎森」と書かれた木簡が見つかり、この場所で酒造りが行われていたことが明らかになりました。今回の調査では、排水のためと考えられる溝跡や用途不明の木の枠などが見つっています。また、石を敷き詰めた場所も見つかりました。



遺跡見学会の様子

関ヶ原合戦時の拠点「北目城跡」

北目城跡は国道4号バイパスの鹿又交差点付近にあった城跡です。政宗は仙台城を築く前、関ヶ原合戦の直前にはこの城を拠点としていました。城の周囲は、これまで大規模な堀跡などが確認されていましたが、今回の調査でも幅9.0m、深さ2.8mにも及ぶ堀跡が発掘されました。また、桶の部材や建築部材と考えられる木材、搦鉢、石臼など、当時の生活を垣間見ることができる資料が見つかりました。



井戸跡から出土した木材

山田上ノ台遺跡 発掘体験!

In 仙台市縄文の森広場



仙台市文化財課では、「仙台市縄文の森広場」で発掘調査を継続して行っています。今年度は10月初めから約1カ月実施しました。調査期間中の10月11日と15日に発掘体験教室を開催し、多くの方にご参加をいただきました。



4000年前の土の層を、ドキドキしながら掘ってみると…。



土をふるうと土器のかけらや石器の破片が出てきました。



終わるころには慣れたもので、皆さんどんどん見つけていました。

参加いただいた方からは「本物に触れることができてうれしかった。」「予想していたよりたくさんの土器の破片が出てびっくりしました。」という声をいただきました。興味のある方はぜひ次回、ご参加いただければと思います。

文化財に触れて、見て、聞いて

～文化財サポーター養成講座 実施中～



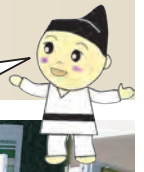
東照宮の石鳥居前にて

9年目を迎える「サポーター養成講座」をきっかけに、50名を超える方が文化財サポーター会に入会しています。今年度は、21名の受講者が、全8回の講座を約半年間で受講中です。9月に第2回講座『市内の文化財をめぐる』を行い、東照宮(青葉区)と東光寺(宮城野区)を訪ねました。毎年、市政だよりや文化財課HPで募集を行っています。皆さんも、仙台の歴史に触れてみませんか。

正面向かって左側の柱に、東照宮を勧請した^{かんじょう}仙台藩2代藩主忠宗の名前が刻まれています。

大盛況!「若林の文化財展」

ご来場ありがとうございました!!



～若林区民ふるさとまつり会場にて～

10月16日(日)に行われた「若林区民ふるさとまつり」のブースの一つとして「若林の文化財展」を開催しました。若林城跡で発掘された屋根瓦等に実際に触れることができ、来場者からは感嘆の声が上がっていました。当日は、若林区内外からたくさんの方々にご来場いただき、ありがとうございました。



若林の文化財展で展示した遺跡の一部をご紹介します!!

遠見塚古墳

【若林区遠見塚】

仙台で1番大きな古墳で、県内では名取市雷神山古墳に次ぐ大きさです。ガラス小玉などの副葬品が出土しています。



遠見塚古墳(航空写真)

法領塚古墳

【若林区一本杉】

円墳と呼ばれる円い形をした古墳です。聖ウルスラ学院英智内にあり、棺を納めた石室が残っています。



棺を納めた石室

陸奥国分寺・国分尼寺跡

【若林区木ノ下】

奈良時代に、聖武天皇の命令で建てられました。全国に建てられた国分寺の中で最北のものとして知られています。



陸奥国分寺回廊跡

陸奥国分寺薬師堂

【若林区木ノ下】

国分寺があった場所に、伊達政宗が薬師堂と仁王門を建てました。陸奥国分寺薬師堂は、仙台最古の木造建築物の一つです。



陸奥国分寺薬師堂

若林城跡

【若林区古城】

伊達政宗が晩年を過ごした城です。政宗の死後、廃城となり、間もなく仙台城二の丸が造営されています。現在は宮城刑務所になっていますが、土塁や堀は比較的よく残っています。城内には政宗が朝鮮から持ち帰ったとされる「臥竜梅」があります。



城南側の土塁



臥竜梅(朝鮮梅)

遺跡見学会など最新の文化財関連情報は仙台市文化財課のホームページで!!
<http://www.city.sendai.jp/manabu/bunkazai/index.html>